

事業番号	09 03 02	事業改善シート(令和4年度実施事業分)		■当初要求 □当初予算案 □補正予算案 □点検			
事業名	環境にやさしい農業推進事業	部局	農政部	課・室	農業技術課		
		実施期間	H16 ~	E-mail	nogi@pref.nagano.lg.jp		
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)							
8つの重点目標							
総合的に展開する重点政策	2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進 4-5 地球環境への貢献						

1 現状と課題

目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> GAPの取り組みを基礎に、食品の安全や環境保全の取組が盛んに行われ、環境と調和した農業が広く行われる。 地球温暖化防止に貢献する技術の導入や農業生産活動が広がる。 	
これまでの取組	<ul style="list-style-type: none"> 国際水準GAPの実践に向けGAP指導員を育成し、GAP認証取得を支援。 有機農業プラットフォームの運営を通じて、生産者・実需者・行政等の情報交換を行い、学校給食への有機食材提供等会員の活動を支援。 炭素貯留の取組として、もみから暗きよの実証展示ほ場を2カ所設置。 	
令和3年度の点検結果・現状分析	課題	今後の方向性
	<ul style="list-style-type: none"> GAP・環境農業の取組は拡大しているが、面的・組織的な取組が不十分である。 有機農業の拡大に向けた気運が高まっていることから、地域等での自主的な活動をより促進する必要がある。 新たな病害虫や防除困難な病害虫が発生しており、的確な発生予察と防除対策が必要である。 県ゼロカーボン戦略として、農業分野における温室効果ガスの削減等の取組の加速が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> GAP指導員による指導活動を強化するとともに、認証取得に向けた組織的な取組を支援。 有機農業プラットフォームの自主的な活動を促進し、実践と支援の輪を拡大。 侵入警戒調査や発生予察により、的確な情報発信と防除対策の実施。 環境にやさしい農業の面的拡大と炭素貯留技術の普及。

2 令和4年度事業内容

予算のポイント・主な取組(予定)	<p>○国際水準GAP認証取組支援</p> <ul style="list-style-type: none"> GAP指導員による指導活動を促進し、GAPの取組レベルの高度化を図るとともに、農業者のGLOBALG.A.P.、ASIAGAP、JGAP認証の取得を促進し、コンサルタントの導入や認証審査を支援。 <p>○有機農業推進プラットフォームの活動支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 有機農業に関心がある生産者、実需者、消費者、行政などで構成する有機農業推進プラットフォームを運営し、会員相互による主体的な活動を支援するとともに、消費者等の理解醸成のための研修会等を開催する。 <p>○重要病害虫まん延防止対策事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 予察調査により侵入警戒を行うとともに、テンサイシストセンチュウの防除及びまん延防止を徹底する。
DX、ゼロカーボン、共生社会づくり、学びの県づくりに資する取組	【ゼロカーボン】農業生産ガスに由来する温室効果ガスを削減するため、水田からの温室効果ガスの発生抑制技術等の開発や、炭素貯留を推進する。また、有機農業をはじめとする自然循環機能を活かした「環境にやさしい農業」の取組を推進する。

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし、—:数値なし]								区分(単位:千円)				
No	成果指標	単位	R1年度	推移	R2年度	推移	R3年度(見込)	R4年度目標値	R2年度	R3年度	R4年度	
1	国際水準GAPの取得件数	件	45	↓	44	↑	45	48		67,582	要求	141,873
2	化学肥料・化学合成農薬を5割以上削減し、環境保全に資する技術に取り組む面積	ha	571	↑	621	↑	657	700	109,142	127,146	予算案	
3												
4												
5												
									事業コスト			
									前年度繰越			
									当初予算			要求 141,873
									補正予算	-3,488		予算案
									合計(A)	105,654	194,728	要求 141,873
									うち一般財源	23,433	20,242	予算案 23,822
									決算額(B)	105,925		
									職員数(人)	18.5	18.5	18.5
設定理由	成果指標	1.国際水準GAP取得者数から、GAP普及状況が把握できるため。 2.化学肥料・化学合成農薬を半分に削減して環境保全に資する技術を実践する「環境保全型農業直接支払事業」取組面積から、環境農業の普及状況が把握できるため。										
	目標値	1.前年度までの増加率と、前年度からの新型コロナウイルス感染症の影響を勘案して、目標値を設定。 2.過去5年間の面積伸び率から設定。										

事業番号	09 03 02	事業改善シート（令和4年度実施事業分）		■当初要求	□当初予算案	□補正予算案	□点検
事業名	環境にやさしい農業推進事業			部局	農政部	課・室	農業技術課

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算
1	GAP・環境農業総合対策事業	14,225 千円	11,069 千円	要求 予算案 40,216 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)	
1	GAPの推進	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・GAPアカデミー、GAPフォーラムの開催 ・国際水準GAP認証取得支援 ・GAP指導員の育成 	
2	環境農業推進事業	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・信州の環境にやさしい農産物認証制度の運用 ・現地環境農業技術実証展示ほの設置、運営 	
3	有機農業プラットフォーム推進事業	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・オーガニック・アカデミー、研修会等の実施 ・オーガニックビレッジの創出 ・プラットフォーム先進活動支援事業 	
4	自然循環型農業定着促進事業	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・もみから暗きよによる炭素貯留の実施 ・果樹せん定枝の炭化貯留(4パーミルイニシアチブ)の検討 	

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算
2	環境保全型農業直接支払事業	36,464 千円	35,406 千円	要求 予算案 40,275 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)	
1	環境保全型農業直接支払事業	交付金	<ul style="list-style-type: none"> ・化学肥料、化学合成農薬の使用を50%削減した上で、地球温暖化防止、生物多様性保全の取組に対する交付金 	

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算
3	植物防疫事業	56,483 千円	78,900 千円	要求 予算案 59,671 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)	
1	発生予察事業	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・病害虫発生予察ほ場の設置及び調査 ・日本植物防疫協会が提供する農薬登録情報等の検索システムへの加入 	
2	病害虫防除所運営費	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・病害虫防除所の設置及び業務の運営 	
3	重要病害虫まん延防止対策事業	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・ミバエ等の侵入警戒調査 ・テンサイシストセンチュウ防除及びまん延防止対策の実施 ・薬剤耐性リンゴ黒星病防除対策プログラムの周知徹底 	

事業番号	09 03 02	事業改善シート(令和4年度実施事業分)			■当初要求 □当初予算案 □補正予算案 □点検			
事業名	環境にやさしい農業推進事業			部局	農政部	課・室	農業技術課	

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算
4	農薬安全使用対策事業	1,970 千円	1,771 千円	要求 予算案 1,711 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)	
1	農薬安全使用対策事業	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・農薬の適正使用の推進 ・マイナー品目の農薬登録拡大 ・環境モニタリング調査の実施 	